

学校図書館支援センター通信 NO.142 3月号



令和元年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

須和田の丘支援学校 3学期の読書週間 お話し会「語り」



「はなさかじい」の桜を満開にさせる最後の場面では、花が咲く美しさを大きな布と花びらで表現しました。



須和田の丘支援学校では、3学期の読書週間に合わせて、1月27日（月）行徳小学校 学校司書 高桑弥須子さんをお招きして、「お話し会」が行われました。

お話し会では、高桑さんによる「語り」が披露されました。参加した高等部1年生、中学部の生徒たちは、語り手と聞き手が作り出す「語り」ならではの世界を楽しんでいました。

今回のお話は、「ばけもの寺」「かにむかし」「はなさかじい」の3作品でした。それぞれのお話を子供たちがより楽しめるように、学校図書館に絵本の世界に近づけるような飾り付けをし、語りの中で補足的に絵を提示する等、「語り」のよさを生かしつつ、子供たちがお話のイメージを広げることができるように様々な工夫がされていました。

高桑さんの、表情豊かで柔らかい語りにより全員が引き込まれ、語り手と聞き手が作り出す素敵な時間を、お話し会に参加した全員が感じることができました。生徒たちの心に響く体験になりました。



「かにむかし」コーナー
学校にあった臼を置きました。はぜ棒の竹は、先生方と協力して用意しました。

読書週間 お話給食「ぐりとぐら」のカステラ



栄養教諭が、お話の中に出てくる「ふわふわとしたカステラ」になるまで、試行錯誤を重ね完成した「ぐりとぐら」のカステラです。子供たちは、カステラを通して、さらにお話の世界に浸ることができたのではないのでしょうか。友だちと一緒に食べることで、お話の世界を共有する素敵な時間となりました。



「ぐりとぐら」のカステラが出来上がるまでの過程がわかる掲示物がありました。

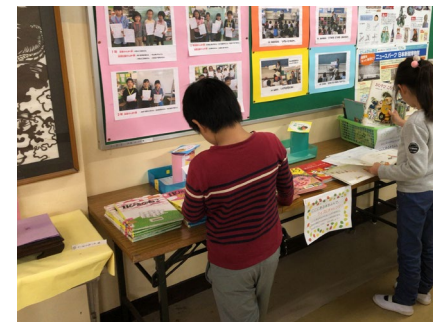
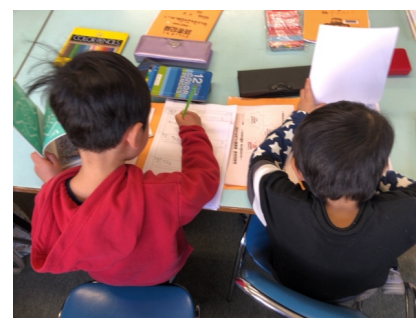


図書館の窓から

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

県内初の義務教育学校である本校。9年間の一貫した学びを念頭に図書館活用教育を推進しています。前期課程図書館では9年間の学びの土台作りとなる取り組みを行っています。その中の1つ「図書館フェスティバル」では、お話給食や管理職の先生による読み聞かせなど様々な取り組みを実践しています。中でも前期課程で行う読書クイズは大人気。本をしっかりと読まないといけないため、言葉や表現に注意しながらじっくり読む姿が見られます。じっくり読む事は、言葉や作者の思いを伝える表現に注目して読むこととなります。また自分の感想をしっかりと持つことができ、読む力もついていきます。この読む力が後期課程への学びに繋がっていくよう実践を重ねています。

【市川市立塩浜学園（前期課程）学校司書 遠藤 佐和子】



中山小学校 百人一首大会 ～団体戦～

2月21日（金）中山小学校にて、百人一首大会団体戦の決勝戦が行われました。中山小学校の百人一首大会は、個人戦と団体戦があります。団体戦は、3人制で行います。1年生から参加があり、3年生2名と6年生1名といった異学年同士が集まった混合チームもあるそうです。今年は、55チームがエントリーするなど、多くの子供たちが百人一首大会を楽しみにしています。毎年この時期になると、各教室でも百人一首が行われ、学校全体で百人一首に親しんでいます。

決勝戦は、高学年だけではなく、3年生チームも出場しており、どのグループも白熱した試合を繰り広げていました。読み手が、上の句を読み始めると、会場の雰囲気は一気に緊張感に包まれ、「はい」という声が響きわたっていました。

個人戦は各クラスの代表4名を選出して行うので、団体戦を行うことで、より多くの子供たちが百人一首大会に参加することができます。様々なアイデアを司書教諭と学校司書が出し合いながら、工夫して取り組んでいます。



お知らせ

今年度の文部科学省委託調査研究協力校の実践および研究の成果を「研究紀要『生きる力・夢や希望を育む学校図書館10』」の冊子にまとめ、各学校へ配付しました。紀要の中に、教職経験4年目の先生方の実践事例も掲載していますので、合わせてご覧いただき、今後の学校図書館活用の参考にしてください。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市曳高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

